

## TPP017 New VP-EVO & Sport 1990~1997 EVO 及び 1994 以降のスポーツスター取り付け説明書

仕様変更によりプライマリーカバー及びダービーカバーの加工無しで1994年以降の全年式スポーツスターに取り付けれるようになりました。また883は新たに設計されたダイアフラムにより高年式のノーマル比約30%クラッチワークが軽減されます。(2003年以前モデルだと約60%軽減されます。)

1200は高年式モデルで約30%軽減されます。(2003年以前モデルだと約40%軽減されます。)

またEVOモデルでは約30%軽減されます。

注意：この取り付け説明書はプロのメカニック用となっています。個人での取り付けは推奨致しません。また個人で取り付けした場合一切の保障を致しかねます。

クラッチコンプレッションツールが必要です。(純正が作業しやすく好ましい)  
(SST H-D38515A)

1：バイクジャッキを使用し車両を垂直にする。バッテリーマイナスケーブルもしくはメインヒューズを外す。クラッチケーブルを一杯緩める。サービスマニュアルを参照しプライマリーカバーを取り外す。

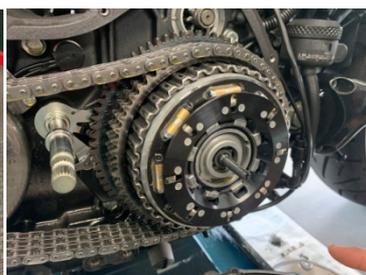
2：クラッチアジャスタースクリューを取り外し、クラッチコンプレッションツールを使用してクラッチスプリングを取り外す。スナップリングの奥にあるリングはもう使用しません。このリングの代わりにVPクラッチが入ります。

(図1) ノーマルダイアフラムスプリングも再使用しません。

図1 再使用しないリング 図2



図3 取り付け状態



3：キット内のダイアフラムスプリングとVPクラッチを取り付けます。

VPクラッチのロットとハブのボスを一致させながらコンプレッションツールでダイアフラムを圧縮します。ハブは脆いので慎重に作業します。コンプレッションツールはVPクラッチの本体を押さえていただいてOKです。(図2) 一人でやりづらい場合はもう一人の方にロットとボスを一致するようにしてもらえば容易です。無理に圧縮するとハブを痛めますので十分に注意してください。

十分圧縮出来たらスナップリングを装着します。きっちりスナップリングが溝

に入り広がった事を確認してコンプレッションツールを取り外します。おもりの付いたレバーは直接ダイアフラムを押すようになります。(図3)

4：プライマリーカバーを古いガスケットと共に仮付けします。プライマリーチェーンをある程度張ってからスターターを回し異音が無い事を確かめます。

5：プライマリーカバーを新しいガスケットを使用して取り付けプライマリーオイルを適量入れます。プライマリーチェーンを適正に調整します。

図4 スポーツスターのみ



6：スポーツスターのみボールエンドランプとケーブルをつなぐ図4のパーツですが、VPC本体とこのパーツとのクリアランスが非常に少ないので念のため、図4のようにグラインダー等で少し削ってください。図4くらい平ら部分が出来ればOKです。少々削り過ぎても問題ありません。

5：アジャスタースクリューを装着し軽く底付きしてからスポーツスターは1/4回転、EVOは1/2回転戻します。クラッチレバーのアソビがクラッチレバーとホルダーの間で2mm以上になるようにクラッチケーブルを調整します。クラッチの切れが良くなるためケーブルの遊びは多めにした方が良いです。違和感無くクラッチが切れる事を確認してエンジンを始動しオイル漏れがない事を確認後、前ブレーキをかけて1速に入れます。クラッチが切れている事を確認後試乗してください。

クラッチの軽さ、圧力変化を楽しんでより良いハーレーライフをお楽しみください。

ありがとうございました。